

円山川・出石川でアユ産卵場造成実験を行いました

2日間で計105名のボランティアが参加!!

～豊岡河川国道事務所～

円山川水系ではアユの遡上数が減少傾向のため、大きな石や砂が堆積するなど、産卵に不適な状態になっている河床をじょれん等で耕して浮き石状態にして、産卵しやすい河床環境を創出する産卵場造成実験を毎年10月頃に行っています。

今年は昨年を引き続き円山川本川・出石川の2箇所で実験を行い、2日間で計105名のボランティアが集まって産卵場を造成しました。

《概要》

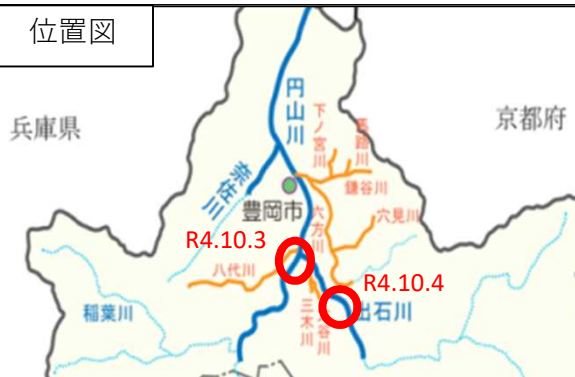
日時：令和4年10月3日4日 13:30～15:30

場所：円山川 中郷遊水地（下池）前（円山川19.0km付近）
出石川 （8.3km付近）

参加者：105名（2日間合計）

豊岡市、円山川漁業協同組合、コミュニティなかすじ、
コウノトリ市民研究所、豊岡市立コウノトリ文化館、
兵庫県立大学大学院、加陽地区づくり委員会、日本コウノトリの会、
コウノトリ市民レンジャー、但東野あそびくらぶいつなと、
日本ハンザキ研究所、復建調査設計、(株)川嶋建設、(株)巴建設、
友田建設(株)、リバーフロント研究所、但馬県民局、
豊岡河川国道事務所

位置図



円山川本川

10月3日は円山川本川で2年連続となる産卵場の造成を行いました。円山川本川での実験は人力作業だけでなく、重機も使用して産卵場を造成しました。また、河川環境をきれいにすべく周辺のゴミ拾いを実施しました。



川の規模が大きい円山川では、**重機**による産卵場造成を行った後、上流から下流へかけて人力での耕うん作業を実施しました。

出石川

10月4日は出石川で産卵場の造成を行いました。出石川での産卵場造成実験は4年前から実施しており、アユの産卵数は増加傾向にあります。また、実験と併行してアユの餌となる付着藻類の生長を阻害する外来植物オオカナダモの駆除を行いました。



出石川上流から下流へと人力による耕うん作業を実施するとともに、**外来植物オオカナダモ**を駆除しました。

参加者から頂いた意見・感想

- ・たくさんのボランティアが川を守るために集まる取り組みを今後も継続していくことが重要だと思う。
- ・2日間の造成作業が良い結果になることを期待しています。

《産卵場造成のイメージ》

作業前



固着した河床

作業後



浮き石状態

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施前の検温とマスク着用を徹底しました。

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 調査課
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3 TEL0796-22-3126 (代表)

